



安曇野ふるさとづくり
応援団

パートナー通信安曇野 第36号

発行: NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内
TEL ; 0263-81-1325

2016.3.4

URL ; <http://azumino-furusato.com/>

編集; 木船



団長あいさつ 等々力秀和

おらほの「応援団」も昨年12月には無事NPO法人になってひと安心せ。で、年も改まったと思ったらへえ3月だじ。早えじゃねえかい。恒例のウォッチングも23回目せ。今回は穂高本郷の歴史文化をさぐる旅。4月17日にやるでね。こないだは大阪で移住希望者向けにセミナーも実施したがいね。それに続けての安曇野体験ツアーに参加してくれた多くの人たちやせ、このうめー空気とアルプスと人情にふれてもらって、大感激せ。今年は拾ヶ堰開削200年。昨年だめだった拾ヶ堰の世界遺産化も実現してえもんだいねえ。まあ今年もいい年にしましょや。

みみより情報①「第23回 ふるさとウォッチングin安曇野」

2016年のガイドウォーキングがいよいよ始まります！

春シーズンのふるさとウォッチングin安曇野。数えて23回目を迎える今回のステージは穂高の本郷地区を中心に巡ります。この原稿を書いている段階ではコースの詳細は未定ですが、穂高神社を起点にかつての保高村にあたる穂高本郷地区や田中地区などを巡る予定となっ

ています。折りしも穂高神社は今年、小遷宮祭を迎えます。神楽殿が真新くなるなど遷宮祭を迎える準備の整った神社と、氏子さんたちが暮らす集落のお宝を訪ねるガイドウォーキングです。日程は4月17日(日)開催予定。詳しくは同封の案内チラシをご参照の上、皆様お誘い合わせの上ふるってご参加ください。(高松)

今回は穂高の本郷地区！



みみより情報②「安曇野さんぽポータルサイトオープン」



ポータルサイトの

安曇野の魅力や楽しみ方を紹介するポータルサイト「安曇野さんぽ」がオープンしました。平成27年度県元気づくり支援金を活用し、応援団と国営公園のコラボによりできたポータルサイトで、安曇野のガイドウォーキングやさとやま楽校の講座紹介等のイベント情報と共に、ウォーキングマップやビュー

ポイントの閲覧も可能です。また、サイトのオープンに合わせて、国営アルプスあづみの公園堀金穂高地区のガイドセンターに安曇野さんぽのインフォメーションコーナーも設置されました(右写真)。誰でも無料で見学でき、イベントのチラシや市内26ヶ所のウォーキングマップを見ることができますので、是非立寄ってみてください。

今年度スタートし大好評だったさとやま楽校「案内人の教室」のテキストも完成し、次年度はバージョンアップした内容で7~11月に開

講予定です。詳細は現在検討中ですが、保高宿等のまちなかをフィールドに加えたより実践的な講座となる予定ですのでお楽しみに。「安曇野さんぽ」には、「さとやま楽校」や「ふるさとさんぽ」等、安曇野の魅力を体験できる講座やイベント情報が盛り沢山ですので、是非ご利用いただければと思います。(宮崎) (サイトアドレス <http://azumino-sanpo.info/>)



みみより情報③「安曇野屋敷林フォーラム2016」を開催します。

屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林を目的をもってつくりました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。安曇野の屋敷林は先人の美意識と機能の表徴であり数百年を掛けてつくられた



桜並木で人気の中央通り(武蔵野市)

時代の証人でもあります。しかし現在ではその本来の機能は技術進歩や生活の変化により必要とはされず、むしろ落ち葉の処理・日照・維持費などを考えると、時代の変化にともない切られ消え去る危機も秘めています。緑にあふれたすばらしい環境を維持することの大変さと、この地域の風景・景観として大きな貢献を屋敷林が背負っていることに気づきます。

屋敷林を安曇野の財産として今後残し保全していくためには、市民意識の啓蒙や資金面での助成や保全の仕組みが必

要だと思えます。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。

今回は通算6回目となりました「安曇野屋敷林フォーラム2016」を企画しました。安曇野市の姉妹都市である武蔵野市から前市長の土屋正忠氏を御呼びして「武蔵野 都市緑化への思い」を講演していただくことになりました。現在安曇野市においても緑の基本計画を作成中ですので 大いに参考になると思います。大勢のご参加をお待ちしています。(場々)

報告①「安曇野暮らしセミナー」と「安曇野暮らし体験ツアー」を開催

当「応援団」協力、安曇野市主催で開催された大阪でのセミナーは14組21名の参加者を迎えて、盛況のうちに終了しました(1/23)。レポートで参加される方もおり、皆さんの熱気が伝わってきます。NPO主催でスタートしたセミナーもかなり成熟してきましたね。

セミナーに先立ち、定住促進の視察で京都府綾部市を訪れました

。廃校となった小学校施設を拠点として活動するNPO法人「里山ねつと・あやべ」。宿泊も可能な研修センターをベースに農家民泊や移住者と地元の交流が図られています。市制が施行された昭和25年当時は5万人以上だった人口も3万5千人ほどと減少が続いており、市の定住促進課も真剣に取り組んでいる様子が見えがえしました。(横田)



綾部視察の様子

また第2回目となる安曇野体験ツアー(2/13)。今年度は雪の多い季節に行われたものの、前日から一気に春を思わせる気温となり、冬の寒さを実感していただけなかったのは残念でした。しかしながら9組15人の参加者は満足して帰路につかれました。

当日は11時に安曇野市役所をマイクロバスで出発。宮崎さんより地域の特徴・不動産状況の説明を受けながら、午前中は豊科～三郷～堀金と松本市に近い新興

住宅地域を回り、国営アルプスあづみの公園へ。あづみの学校内で安曇野の地形や風土、生き物などを見学した後、昼食を交えながら簡単な懇談を行いました。そして午後は雪かき体験。みなさん結構楽しんで行っていました。午後は有明の別荘地域から穂高の田園地帯を回り、予定通り15時には市役所に戻りました。その後行われた参加者との意見交換やアンケートの結果を見ると、基本的かつ系統的に各地区の特色を体感していただけたようです。

冬開催の希望が多いですが、今後は様々な世代の移住者との交流の場も設けるなどして、より具体的な移住計画から実現に結びつけられるツアーとしたいです。(横田)



安曇野体験ツアーの副題は「～冬の安曇野を体験してみよう～」みんなで雪かき体験!